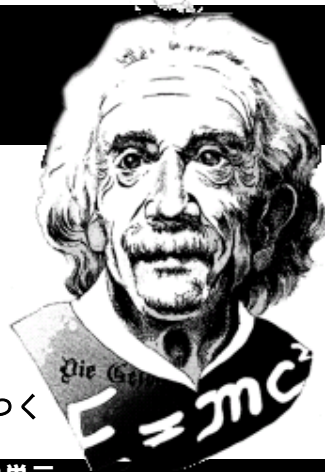


ふしぎな科学博物館

●受講期間 3ヵ月 ●受講料 13,200円

■テキスト3冊 ■添削レポート3回 (Web提出可)

なぜ？なぜ？なぜ？——先端の科学の知識を数式抜きに学べる
 やさしく明快な説明と図表（イラスト）で科学とは何かが実感できる
 社会人として知っておきたい、科学の常識はこれだけで十分
 社会人に必要な発想力、思考力、推理力、仮説設定力などが自然に身につく



●第1単元

現象と反応のふしぎ
[落ちないリンゴ]

- ・物が落ちる加速度を測ったガリレイ
- ・ニュートンをリードした球転がし実験
- ・300万年に1秒しか狂わない原子時計
- ・真空管を葬ったビリリと小粒な半導体
- ・低温で超能力を発揮する超伝導磁石
- ・ダイヤモンドになり損ねて鉛筆のしん
- ・原子爆弾を手なづけて原子力発電
- ・核融合の実用化は21世紀半ば？

全24講

●第2単元

宇宙と地球のふしぎ
[宇宙人は地球人]

- ・雄大なロマンをかき立てる星座の群れ
- ・中性子星やブラックホールは星の最期
- ・宇宙は「バーン」と大爆発で始まった
- ・偉大な恵みを施す太陽はいま働き盛り
- ・地殻変動を見事に解いたプレート理論
- ・沈み込む太平洋プレートが災害のもと
- ・気象データの収集に技術の粋を尽くす
- ・異常気象を振りまくエルニーニョ現象

全24講

●第3単元

生命と環境のふしぎ
[恐竜のたまご]

- ・風邪もエイズも、ウイルスのいたずら
- ・恐竜は育児をするほどの知恵者だった
- ・人体は細胞が60兆個も集まった小宇宙
- ・正常細胞の突然変異でガンがスタート
- ・縄バシゴに書きつけられた遺伝の暗号
- ・春先に花粉症で悩む人は増えるばかり
- ・役に立ったフロンが思わぬシッペ返し
- ・人口爆発で消耗する資源とエネルギー

全24講

